スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【茨城県高萩市】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	茨城県高萩市
担当課名	高萩市教育委員会生涯学習課
電話番号	0293(23)1132

1．自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

人口	26,025人	部活動数	26部活
公立中学校数	3校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	高萩市休日部活動地域移行協議会設置済
公立中学校生徒数	585人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定を検討中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

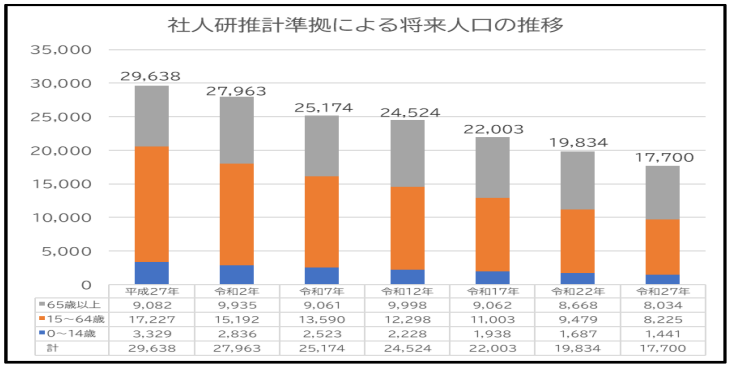
本市の人口は、平成７年の35,604人をピークに減少傾向にあり、令和２年には27,699人となっています。また、国立社会保障・人口問題研究所による本市の将来人口の推計は、今後も一貫して減少を続け、令和２７年には17,700人になると見込まれております。高齢化率（６５歳以上人口が総人口に占める割合）は、平成７年の16.2%から令和２年の36.1%と推移しており、本市の令和２年における高齢化率の水準は、全国平均（28.0%）や県平均（29.3%）と比較し高い状況となっています。更に６０歳台の人口が多く、今後これらの人口階層の人々が後期高齢世代を迎え、さらなる高齢化が進むものとの予測がでております。

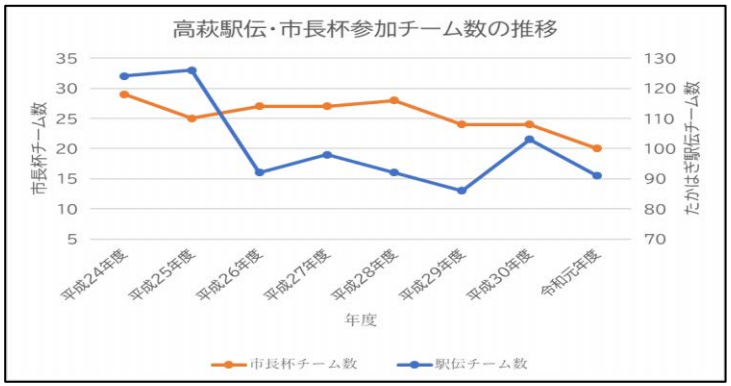
スポーツ関連の現状は、市民参加型のスポーツ大会は、「高萩市長杯争奪軟式野球大会」と、「たかはぎ駅伝競走大会」の２事業あります。高萩市長杯争奪軟式野球大会は、平成２４年度の２９チームをピークとして新型コロナウイルス感染症拡大以前の令和元年度には２０チームと減少傾向にあります。（平成元年当時は１００チーム前後の参加があった記録があります。）

たかはぎ駅伝競走大会は、平成２５年度の１２６チームをピークとして、令和元年度には、９１チームとやはり減少傾向にあります。

スポーツ施設は、高萩市民球場（昭和４７年度建設）、市民体育館（昭和５０年の建設）、高浜スポーツ広場（昭和５２年の建設）の３施設が建設から５０年前後経過しており、耐用年数を超えております。特に市民体育館は、ここ数年雨漏りが発生することがあり、その都度修繕にて対応しているところです。

以上の様に地域におけるスポーツ環境は、ハード・ソフトとも課題がある現状です。

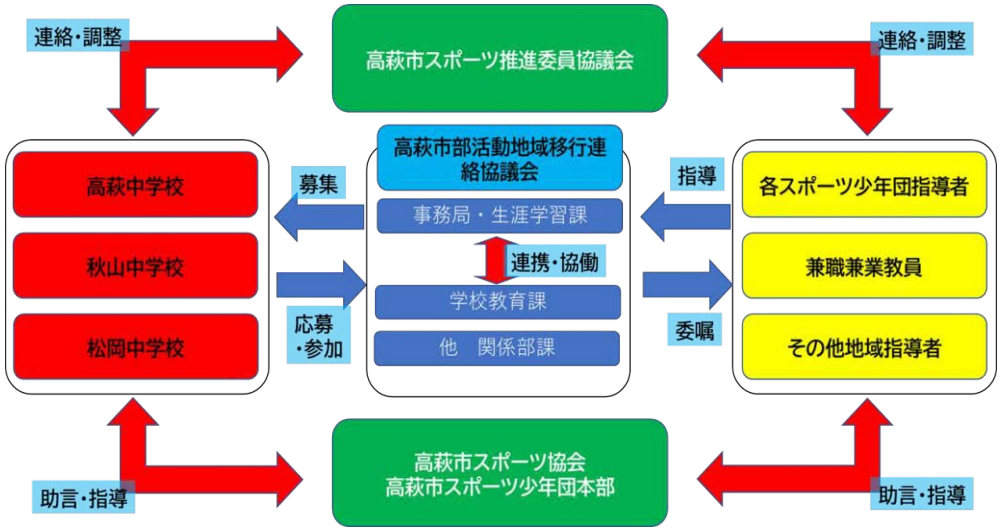




2．実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**
  生涯学習課　高萩市休日部活動地域移行協議会事務局
  学校教育課　中学校や教員との調整

- **首長部局**（企画財政課）
  予算の調整

年間の事業スケジュール

時期	計画事項
4月	第１回検討会議の開催（関係者間の顔合わせ、方針の確認）
	地域移行実施準備
5月	地域指導者向け研修会①の実施
	地域スポーツクラブ活動の活動開始（軟式野球、バスケットボール、柔道、卓球、ウエイトリフティング）
6月	保護者アンケートの実施
7月	第2回検討会議の開催（進捗状況の報告等）
8月	関係団体ヒアリング（部活動改革、地域スポーツの今後について）
9月	地域指導者向け研修会②の実施
11月	第3回検討会議の開催（中間まとめ、検討事項の洗い出し）
2月	第4回検討会議の開催（成果報告、来年度に向けた検討課題）
3月	事業完了報告書・成果報告書等の作成
毎月	指導者連絡会

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

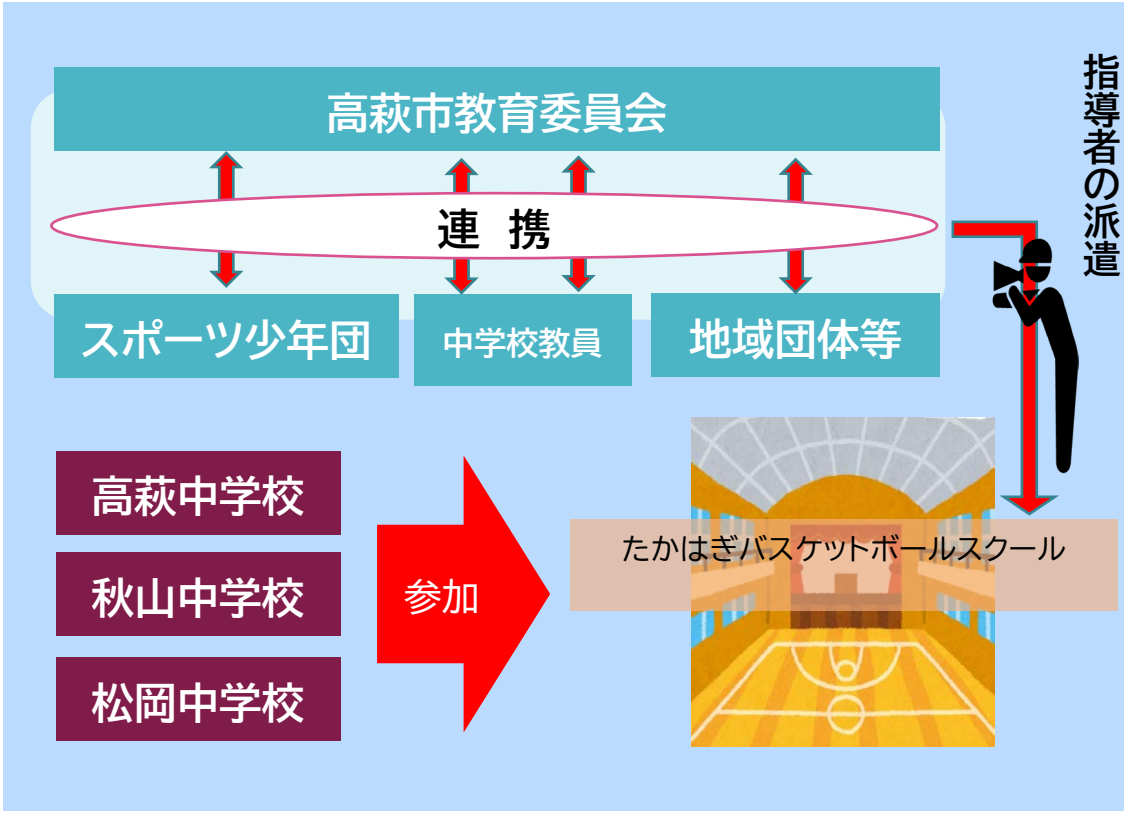
拠点校数	３校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	軟式野球、卓球、バスケットボール、柔道
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	１５部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	高萩中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	５部活
地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール
運営主体名	高萩バスケットスクール
運営類型	市町村運営型（地域団体・人材活用型）
１か月あたりの平均的な活動回数	月３回程度
指導者の主な属性	スポーツ少年団指導者、クラブチーム等指導者
活動場所	高萩中学校、秋山中学校、松岡中学校
主な移動手段	保護者の送迎、自転車、徒歩等
１人あたりの参加会費等（年額）	1,500円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

本市においては、令和４年度より調整を開始し、説明会、意向調査及び準備委員会を経て、軟式野球、柔道、卓球及びバスケットボールを実施することになった。最終目標を「生徒の週末の選択肢を増やす」こととし、既存の部活動だけではなく他のスポーツや文化活動も選択肢として提供することとした。令和５年度は、市において推進しているウエイトリフティングを選択肢として追加した。

取組の成果

4競技において試行を開始した。3競技（柔道、バスケットボール及び卓球）については、休日の部活動を行わない（中学校単位での練習試合を除く）こととした。
軟式野球については、地域移行への過程として3中学校を1チームとして大会に出場し、県大会３位の実績を残すことができた。
また、地域スポーツクラブ活動に参加した市内中学生徒数は71名であり、全生徒数の12.13%となった。

【競技別・中学校別人数内訳】

種目	高萩中	秋山中	松岡中	市外	合計
柔道	7	0	0	0	7
軟式野球	11	11	5		27
バスケットボール	12	4	8		24
卓球	3	0	9	2	14
ウエイトリフティング	1	0	0	2	3
合計					75

特に工夫した事項

それぞれ実情に応じて実施形態を考慮した。卓球及び柔道は、既存のスポーツ少年団の指導者にお願いする形式、軟式野球は3中学校を1チームにまとめる拠点校方式をとり今後地域クラブに移行していく形式、バスケットバールは地域指導者を中心にスクールを立ち上げ、地域移行の足掛かりを形成することとした。
また、部活動にはない種目であるウエイトリフティングについて、参加人数は3名であったが同じ枠組みで導入し、「休日の選択肢を増やす」取組として今後の高萩市の取組としてPRすることに成功した。

【競技別指導者・男女別内訳】

種目	指導者数	男	女	合計
柔道	2	6	1	7
軟式野球	－	27	0	27
バスケットボール	4	15	9	24
卓球	1	8	6	14
ウエイトリフティング	2	3	0	3
合計				75

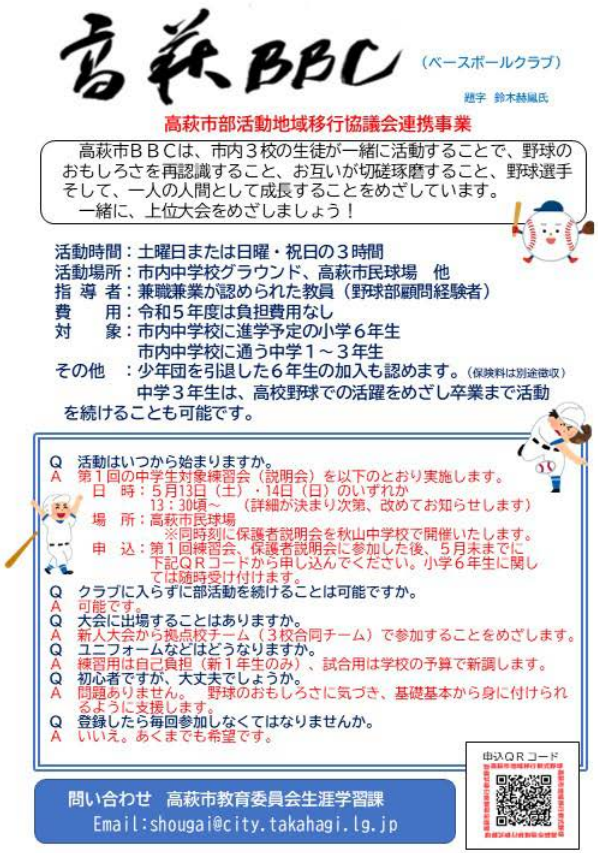
今後の課題と対応方針

令和５年度地域移行として実施したスポ―ツにおいて、平日と違う活動を選択等する生徒はいなかった。これは、生徒及び保護者の意識がまだ改革されていないということである。令和６年度以降、様々な媒体（リーフレットやSNS,HP等）での広報活動を活発化させ、関係者の意識改革をしていきたい。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



高萩BBC（ベースボールクラブ）

題字　鈴木赫風氏

高萩市部活動地域移行協議会連携事業

高萩市ＢＢＣは、市内３校の生徒が一緒に活動することで、野球のおもしろさを再認識すること、お互いが切磋琢磨すること、野球選手そして、一人の人間として成長することをめざしています。
一緒に、上位大会をめざしましょう！

活動時間：土曜日または日曜・祝日の３時間
活動場所：市内中学校グラウンド、高萩市民球場　他
指 導 者：兼職兼業が認められた教員（野球部顧問経験者）
費　　用：令和５年度は負担費用なし
対　　象：市内中学校に進学予定の小学６年生
　　市内中学校に通う中学１～３年生
その他　：少年団を引退した６年生の加入も認めます。（保険料は別途徴収）
　　中学３年生は、高校野球での活躍をめざし卒業まで活動を続けることも可能です。

Q　活動はいつから始まりますか。
A　第１回の中学生対象練習会（説明会）を以下のとおり実施します。
　　日　時：５月13日（土）・14日（日）のいずれか
　　13：30頃～　（詳細が決まり次第、改めてお知らせします）
　　場　所：高萩市民球場
　　※同時刻に保護者説明会を秋山中学校で開催いたします。
　　申　込：第１回練習会、保護者説明会に参加した後、５月末までに下記ＱＲコードから申し込んでください。小学６年生に関しては随時受け付けます。
Q　クラブに入らずに部活動を続けることは可能ですか。
A　可能です。
Q　大会に出場することはありますか。
A　新人大会から拠点校チーム（３校合同チーム）で参加することをめざします。
Q　ユニフォームなどはどうなりますか。
A　練習用は自己負担（新１年生のみ）、試合用は学校の予算で新調します。
Q　初心者ですが、大丈夫でしょうか。
A　問題ありません。　野球のおもしろさに気づき、基礎基本から身に付けられるように支援します。
Q　登録したら毎回参加しなくてはなりませんか。
A　いいえ。あくまでも希望です。

申込ＱＲコード

問い合わせ　高萩市教育委員会生涯学習課
Email:shougai@city.takahagi.lg.jp



たかはぎバスケットボールスクール

高萩市休日部活動地域移行協議会連携事業

他の中学校の仲間とともにこのスクールで技術の向上を目指しませんか。
ぜひみんなでバスケットボールを楽しみましょう！！！

活動開始：令和５年度総体終了後から
活 動 日：土曜または日曜、祝日（３時間）
活動場所：高萩中、秋山中、松岡中体育館のいずれか
指 導 者：地域スポーツ指導者、兼職兼業が認められた教員
費　　用：1,500円／年（保険代含む）

Q　総体が終わったら休みの日の部活はどうなりますか。
A　総体終了後は、バスケットボール部の休日の活動は行いません。（練習試合を除く）
Q　入部したら必ずこのスクールに参加しなければなりませんか。
A　いいえ。このスクールはあくまでも希望者です。
Q　引退したあとの３年生も入れますか。
A　できます。
Q　大会に出場することはありますか。
A　ありません。このスクールは個人の技術向上を目的としています。
Q　土日に所属する中学校で練習試合や大会があった場合はどうすればいいのですか。
A　どちらの活動も強制はしませんので生徒・保護者の判断にお任せします。
Q　初心者ですが、大丈夫でしょうか。
A　問題ありません。基礎基本から身に付けることができます。
Q　活動場所や時間はどうやって知ることができますか。
A　ホームページに掲載します。
Q　どんな練習をしますか。
A　個人の技術向上のための練習、ゲームなどを行います。

申込ＱＲコード

問い合わせ　高萩市教育委員会生涯学習課
Email:shougai@city.takahagi.lg.jp

各競技地域スポーツ活動募集チラシ。３月末に、中学校１・２年生及び小学校６年生全生徒・児童に配布。
登録は、チラシ下部のQRコードからGoogleフォームにて登録。
フォームは事務局（生涯学習課）で管理し、申込状況を順次各競技の事務担当者へ共有

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【たかはぎバスケットボールスクール指導の様子】



【高萩ジュニア卓球クラブの様子】



【高萩ベースボールクラブの活躍（県北新人戦優勝、県新人戦3位】



【高萩柔道スポーツ少年団での指導の様子】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス①

R6.1	R4.9	R4.10	R4.12～R5.3	R5.7～
競技団体に対する説明会	競技団体意向調査	競技団体と部活動顧問との座談会	準備会（年度末まで3回開催）	各競技地域クラブ開始（総体終了後順次）

高萩市スポーツ協会各専門部に対して、国・県の動向について説明した後、高萩市が向かう方向性についての事務局案を提示。

・まずは実情の周知として実施
・事務局案はいかに地域に落し込むかであったが、主導はあくまでも教育委員会にせざるを得ない実情が判明

意向調査で協力可能であった競技団体と中学校部活動顧問との座談会を実施。部活動の現状及び今後の方向性を探る

・教員と地域スポーツ関係者の意識の違いが判明
・上記をどのようにすり合わせていくかが課題として抽出できた
・教員によっても部活動に対する熱量の差が顕著にみられた

座談会を経て実現可能と判断した４競技の地域指導者及び中学校顧問にて、具体的な実施方法及び指導体制について協議

・４競技に実情の違いに応じてそれぞれ移行の方式を変えていかなければならないことが判明

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス②

R６.1

R6年度地域移行予定の４競技に対する説明会

R6.7

R6年度移行開始各競技地域クラブ開始（総体終了後順次）

R5年度の実施状況を受けてR6年度地域移行の実施を予定している４競技に対する説明会。R5獲得することのできた実施方法の紹介及び、それらのどの類似ケースを適用するかを検討。

・競技により様々な実情が見えてきた
・その場で結論をだすのではなくR6.２月に生徒への案内用のチラシを作成することで内容を整理することを依頼

R5年度同様、R6年度においても総体終了後、実施予定の４競技の移行を順次開始。

3．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

種目		R5	R6	R7	R8
軟式野球		実施中			休日部活動の完全移行
バスケットボール		実施中			
柔道		実施中			
卓球		実施中			
サッカー			実施予定		
バレーボール			実施予定		
ソフトテニス			実施予定		
剣道			実施予定		
その他のスポーツ	ウエイトリフティング	実施中			
	硬式テニス		実施予定		
	空手		実施予定		
吹奏楽			実施予定		
その他の文化活動				検討中	